

後期授業についてのご意見

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年9月11日）

いつもお世話になっております。1年生の者です。

この度は、後期授業についてのご意見を述べたいと思い、投稿致しました。

結論から申し上げますと、英語（リーディング・ライティング）の授業を対面で実施していただきたいというのが私の願いです。

先日、「全学共通科目に関する質問・意見ページ」において、上記と同様のご意見をお伝えしたところ、全学共通窓口からは、「後期の授業は原則オンラインによる実施となりますが、対面交流の機会は各学部が主となって検討しています」といった趣旨のお返事をいただきました。

しかし、その後所属学部教務掛に伺うと、「対面交流の機会は現在検討していない」とのことでした。さらに本日、所属学部専門科目についての授業形態が発表されましたが、演習のない所属学部1年生は、専門科目のすべてを非対面方式で受講することがほぼ確定しています。

以上のような事情から、所属学部生は後期も対面することができないのではないかと非常に不安を抱えています。前期期間、オンライン授業では共に大学で学び刺激し合う友人が思うようにはできなかつたため、後期も前期と同じなのかと思うと暗澹たる思いです。

そのため、英語リーディングおよび英語ライティングの授業を対面で実施していただきたいという考えに至りました。これらの授業は、各学部のクラスごとに実施されるからです。スポーツ実習が対面で実施されるのであれば交流の機会があるのかもしれませんが、これは任意参加のため、十分ではないと考えます。一方、英語の授業であれば、クラス全員が履修することに加え、40人もしくは20人と比較的小規模な人数であるため、感染を防止しつつ授業を実施できるのではないかと考えています。さらに、関西の主要な他総合大学でも、言語の授業は対面で実施すると聞いています。

もう既に授業形態の方針を決めていらっしゃると思いますが、どうしても通学できることのできない生徒にはZoomによる同時配信、録音データ等で対応できるのであれば、今後英語の対面授業実施をぜひともご一考していただきたく存じます。

【回答】（回答日：2020年9月23日）

（回答者：国際高等教育院）

貴重なご意見ありがとうございます。

後期開始当初に対面で実施する授業については、9月16日付で学生の皆様にお知らせさせていただきました通りです。英語のリーディング・ライティング・リスニングでは対面での授業は予定されておりませんが、後期の全学共通科目については、引き続き、

新型コロナウイルス感染拡大の防止等に最大限配慮しながら、オンライン授業など非対面の授業だけでなく、対面授業も一部実施し、大学の方針等を踏まえつつその拡充等についても検討していく予定です。